

学校だより



ひがし

令和4年12月23日発行
第12号
伊豆市立修善寺東小学校
TEL0558-72-0420

- ◆学校教育目標「よく学ぶ たくましく心やさしい 東っ子」
- ◆重点目標「自分の考えをもち、表現しよう」「人を大切にしよう」「目標に向かって、挑戦しよう」

タブレットの活用

伊豆市立修善寺東小学校校長 堀江 健司



今日で、82日間の第2学期が終了します。振り返ると、2学期最初の8月25日、まだまだ残暑の厳しい時期でした。今は、真冬並みの寒さです。午後5時には、もう暗くなります。季節の移り変わり、時間の経過を感じます。コロナ禍は相変わらずで、第8波が来ています。そんな中でも、子供たちは大変元気で、朝から寒さに負けず、外で体を動かしています。欠席もとても少ない状況が続いています。予定されていた行事も滞りなく実施できました。来学期も、コロナはなくなるでしょうから、感染に注意しながらも、授業や行事を予定通り実施していきたいと思えます。

さて、昨年度より支給されています1人1台端末(タブレット)ですが、この冬季休業中は、全員持ち帰ることとしました。今までも、健康状態のよい自宅待機の児童には貸与してきました。しかし、全員が長い期間持ち帰るのは初めてです。今回は、持ち帰る期間が長いので、付属の充電器も持ち帰ります。取扱注意事項は、伊豆市教育委員会から配付されました資料をお読みください。冬季休業中、タブレットを使う課題はありません。前述の資料には、使用目的として、

「自主学習(eライブラリを中心とした市が導入しているアプリやWebページの活用)」→可

「授業内容の確認(ロイノート、Google Classroom等の活用)」→可

「学級担任等との連絡(Google Classroom、Google meet等の活用)」→冬季休業中不可と例示されています。子供たちは、日々活用しているので、ご家庭でも使用できると思います。今回は「学級担任等との連絡」は設定していませんが、よい機会ですので、子供たちが授業で作成したものや実際使用する様子をご覧ください。3学期の始めには、充電器と共に持たせてください。もし、お困りのことがございましたら、問い合わせフォームも配付資料についていますので、ご利用ください。

先日、市議会の議員の方々が学校を訪問し、授業を参観しました。学年や教科を問わず、タブレットを活用する姿を見て、教育方法の変遷を目の当たりにしたようでした。その中で、「先生方の負担はどうか」という質問がありました。確かにタブレットを配付しただけでは、授業になりません。いかに使うか先生方の研究と準備に負うところが多いです。通常の業務に加えて、研究や準備をするわけですから、もちろん負担はあります。しかし、先生方はとにかく使ってみようという前向きな姿勢で臨んでいます。市や業者の支援を受けながら、子供たちの学習に生かされるように取り組んでいます。積極的な活用は、このようなことにも使えるんだという新たな活用例も生んでいます。また、授業だけでなく、児童会活動や学校行事でも活用が見られ、さらに活用事例が広がっていく将来性も見込まれます。これは、今までの学習を否定することではなく、常にバランスを考えながら推進しています。